

特別
企画

へんろ道沿いの風景 【秋編】

(公財) えひめ地域政策研究センターでは、遍路道沿いの景勝地について調査を行い、学識経験者の協力を得て名勝指定の候補地としてリストアップしております。

その際、各地で出会えた季節の美しい風景や、参拝者が巡る四国八十八ヶ所の遍路道沿いの様子を、春・夏編に続き、掲載いたします。



西条市西田の石鎚神社の参道を紅葉が美しく彩ります。江戸時代までは、この石鎚神社の場所に64番札所「前神寺」があったという歴史があります。



松山市窪野町の一遍上人の窪寺閑室跡には彼岸花が美しく咲き、遍路の目を楽しませてくれます。



石鎚山の麓に建つ前神寺は、静寂な境内に入母屋造の本堂が佇みます。



秋の遍路道沿いには、棚田の稲穂と彼岸花が美しいコントラストを見せます。



42番札所「仏木寺」の山門をくぐると、ユーモラスな七福神が遍路を迎えてくれます。



夕暮れの遍路道にススキの穂が揺れ、秋の訪れを知らせています。



三間盆地は旧三間町の時代の町の花がコスモスだったこともあり、遍路沿いにコスモスがたくさん植えられ、風に揺れています。



久万高原町の44番札所「大宝寺」では、本堂に向かう階段を上ると山頭火も俳句に詠んだ大イチョウが迎えてくれます。



45番札所「岩屋寺」に向かう道筋には古岩屋の岩峰群がそびえ、紅葉が彩りを添えます。



岩屋寺は、峻険な岩山に囲まれた修行場で、岸壁に紅葉が映えます。



西条市丹原町古田の別格霊場「西山興隆寺」は紅葉が美しいことで知られる古刹です。



宇和島市三間盆地の旧庄屋敷には、たくさんの干し柿が吊るされ、秋の深まりを感じさせます。



松山市恵原町の別格霊場「文殊院」は、遍路の開祖と言われる衛門三郎の屋敷跡に建てられた寺で、境内には大きな修行大師像があります。



三坂峠から松山平野へ下って行くと、棚田沿いの道に赤い彼岸花が点々と散りばめられています。



西山興隆寺は、「紅葉寺」とも呼ばれ、紅葉を求めて、大勢の人が訪れます。



秋の山道では、時折、息をのむほどの美しい紅葉に出会うこともあります。